

質問書に対する回答

件名) 横浜新道 新保土ヶ谷 I C ~ 川上 I C 間付加車線工事

No.	質問箇所	質問事項	回 答
1	数量総括表(7) 19-1交通規制工、19-(2)交通保安要員の数量について	19-(2)交通保安要員の数量(人・日)は基本的に特記仕様書P43~P46の配置数と、設計書の交通規制工の各回数により計算されるものと考え、算定を試みましたが、その計算値は数量総括表の掲載値と大きく異なる結果でした。交通規制工の数量算定は詳細かつ難解なため施工においても誤解し易く、数量計算の具体的な方法を、規制図(その17)などいずれかサンプルを使用してご教示いただけませんか。	交通監視員については各交通規制工の回数に1回あたりの配置人数を乗じて算出しています。ただし、交通監視員Aについては、路肩固定規制中の設置期間も考慮しています。交通誘導警備員は弊社の施工計画に基づき必要な配置人数を計上しています。
2	側道交通誘導警備員の各規制工の回数について	特記仕様書P45~P46及び設計図【遮音壁・雑工】53/53側道交通誘導警備員配置図に記載の交通規制はそれぞれ何日(何回)を想定されているかご教示ください。	弊社の施工計画に基づき必要な配置人数を計上しています。
3	東山田高架橋仮置き場及び川向高架橋仮置き場の各規制工の回数について	特記仕様書P46 に記載の左記仮置き場のそれぞれの交通保安要員の配置日数をご教示ください。	仮置き場に車両が出入りする日毎に配置が必要とお考えください。
4	数量総括表(6)18-(17)構造物等取壊し工について	左記の項目は数量総括表の(TypeA)30.2m2と表記されていますが、設計図【擁壁工下り線】27/27にはTypeBと表記されています。いずれが正かご教示ください。	現在内容確認中ですので、確認でき次第お知らせいたします。